

4/20 ちびっこ消防隊出動

北見地区消防組合消防署置戸支署は、春の火災予防運動の特別行事として、こどもセンターどんぐりの園児による「一日ちびっこ消防士」を実施しました。最初に参加園児一人ひとりに委嘱状が交付され、「防火の誓い」を全員で唱和。その後、園児たちは消防車について実物を見ながら説明を受けたり、防火衣を身にまとっての放水訓練などを行い、火災予防への関心を高めていました。



4/22 西島勝司氏に感謝状

西島勝司氏は平成17年より10年もの長きにわたり行政相談員として、行政機関への医療保険・税金・年金・河川・道路・登記・社会福祉等に関する苦情や問い合わせを受け付け、困っている町民と行政機関等とのパイプ役として活躍され、行政相談制度の発展に寄与されてきました。その功績がたたえられ、総務大臣より感謝状が贈られました。



4/22 おけと湖へワカサギを

冬のおけと湖水釣りのためのワカサギのふ化準備作業が4月22日、鹿ノ子ダム奥のワカサギふ化放流施設で行われました。町職員など15人が、網走から搬入した2千万粒の受精卵を、木枠にシュロの木の繊維を張った「ふ化盆」と呼ばれる付着器に付着させ、並べて水槽に沈める作業に励みました。卵は2カ月ほどで稚魚となり、自然流化しておけと湖へ直接放流されます。



5/3 つくる楽しさを体験

5月3日から5日、どま工房で「木あそび展」が開催され、期間中約250人がつくる楽しさを体験しました。訪れた家族連れなどは、木トンボ、ペタクタ、カッティングボード、箸、ナイフといった木工体験や羊毛を使った小物づくりに挑戦。オリジナル品の完成を目指し、削ったり、磨いたりして、製作作業に没頭していました。また、無料で遊べる木のプールも子どもに人気でした。

